

平成23年2月1日
防 衛 省

「自衛隊の大規模広報施設に係る入場料の徴収に関する実験の実施に関する省令を廃止する省令案」に対する意見公募の結果について

「自衛隊の大規模広報施設に係る入場料の徴収に関する実験の実施に関する省令を廃止する省令案」につきましては、平成22年12月21日から平成23年1月19日までの間、御意見を募集したところ、6件の御意見をいただきました。

お寄せいただいた御意見の概要とそれに対する防衛省の考え方につきまして、別紙のとおり取りまとめましたので、御報告いたします。

また、本省令案等につきましては、平成23年2月1日に制定したことを併せて御報告いたします。

お寄せいただいた御意見につきましては、今後、入場料を徴収するか否か最終的な判断を検討する中で参考意見として考慮させていただきます。

今回、御意見をお寄せいただきました方の御協力に厚く御礼申し上げます。

問い合わせ先

住 所：〒162-8801

東京都新宿区市谷本村町5-1

防衛省大臣官房広報課

電話番号：(代表) 03-3268-3111 内線20301

F A X：03-5269-3270

○いただいた御意見の概要とそれに対する当省の考え方

御意見の概要	当省の考え方
○入場料徴収に反対 - 入場料の徴収は、自衛隊広報館の本来の目的から乖離している。入場料を払ってでも見学に来る国民はすでに国防の重要性等がある程度理解しているものであり、広報の重点ではない。広報の重点とすべき対象は、自衛隊に対する関心等があまり高くない層における青少年及び児童並びに女性層であり、この広報の結果が自衛官志願層の増加につながるとともに、国防の基盤を形成するものである。よって、入場料の徴収は撤回すべきである。 - 自衛隊の活動を、広く国民に知らしめる広報活動は、自衛隊の主たる活動の一つです（訓練、整備、広報）。自衛隊の広報施設は、テーマパークではありません。安全保障について、国民が実際に触れ、また意識を深めるための、大切な施設です。テーマパークと一緒にしてしまう見識のなさから、入場料の徴収となったと推察いたしますが、もしそれなら、自衛隊音楽祭り、駐屯地祭、観艦式等、全てを有料にしなくては、齟齬が生じます。よって、廃止するのは当然だと思います。 - 遠方から交通費をかけて来館するのに、入館料をとるのは厳しい。埼玉県は、他県に比べ自衛隊のイベントが極端に少ないのだから、陸上自衛隊広報センターくらい無料でいいのではないかな。 - 広報施設の目的に合った運営として、今後も無料開放をお願いする。	- 頂いた御意見のとおり、広報施設というのは、広く一般の方に防衛省・自衛隊を少しでも理解して頂くためにあるものです。他方、一昨年の行政刷新会議事業仕分けにおいては、「自衛隊の広報事業（大規模広報施設・行事）」が対象となり議論がなされ、「予算を削減（入場料の徴収を含め民間委託）」という評価結果となりました。これを受けて、今後の対応について防衛省として検討した結果、入場料を徴収することによる、入場者数の変化やその他の自衛隊の広報活動に与える影響について検証することを目的に、昨年１１月より実験的に入場料の徴収を実施しているところです。 - 防衛省としましては、今後、本実験結果を検証し、それを踏まえて今後の施策を検討させていただきます。
○入場料徴収に賛成	

施設自体は広く自衛隊の活動を国民に周知する施設として必要と考えますが、国の財政状況など考慮すれば、大規模広報施設の入場料は徴収するべきと考えます。また、施設の運営については、昨今の指定管理者制度のような形で民間に委託しては如何でしょうか。	- 頂いた御意見のとおり、広報施設というのは、広く一般の方に防衛省・自衛隊を少しでも理解して頂くためにあるものです。他方、一昨年の行政刷新会議事業仕分けにおいては、「自衛隊の広報事業（大規模広報施設・行事）」が対象となり議論がなされ、「予算を削減（入場料の徴収を含め民間委託）」という評価結果となりました。これを受けて、今後の対応について防衛省として検討した結果、入場料を徴収することによる、入場者数の変化やその他の自衛隊の広報活動に与える影響について検証することを目的に、昨年１１月より実験的に入場料の徴収を実施しているところです。 - 防衛省としましては、今後、本実験結果を検証し、それを踏まえて今後の施策を検討させていただきます。 - なお、指定管理者制度のような形態で民間に委託してはどうかとの御意見につきましても、本実験結果とともに検討させていただきます。
○省令を廃止することについて 実験を開始して１ヶ月程しか経っていませんが、これで何か有効なデータが得られるのでしょうか。聞くところによれば入場者が激減したようですが、それは当然予想されることで、それだけの結果を得るだけで有料化し、「激減しました」が結果では、わざわざ料金を支払った入館者に失礼です。実験を終えたいのなら、どのようなデータが得られたので終了したいとすべきではないでしょうか。すくなくとも激減したのなら、その理由の解析や、１円当たりの減少量であるとか、土日、時間帯の別など、入館者の属性別など今後に役立つデータを収集できてからではないですか。	- 防衛省としましては、実験期間中における入場者数の推移・ご入場者様からのご意見などから、実験を３ヶ月程度実施すれば、今後の施策を検討する資が得られるものと考え、１月末日をもって本実験を終了することとさせていただきます。御理解頂ければと思います。 - いずれにいたしましても、本実験結果を検証・検討した後、今後の施策については何かしらの形で皆さまにご報告させていただきたいと思います。